

廃炉・汚染水対策に従事している作業チームに対する感謝状の授与

平成28年1月28日
資源エネルギー庁

1. 目的

福島第一原子力発電所の廃炉は、今後30～40年かかると見込まれている世界に前例のない困難な事業。福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に従事している企業、作業員の士気向上、優れた功績の周知等を目的に、厳しい作業環境下において、困難な課題に果敢に挑戦し、顕著な功績をあげた作業チームに対して感謝状を授与する。

2. 対象者

平成27年度に福島第一原子力発電所において廃炉・汚染水対策に従事した作業チーム（元請企業と元請企業が選定した企業により構成される作業チームを対象とする）。

3. 選定基準

中長期ロードマップの目標行程を実現していく際、難易度が高い工事等において、

- i) 作業を工夫し、当初計画より特に成果を上げた協力企業による作業チーム
- ii) 作業安全に特に貢献した協力企業による作業チーム
- iii) 人材育成に特に努力した協力企業による作業チーム

その他、廃炉・汚染水対策を進める上で、顕著な貢献をした協力企業による作業チーム

4. 選定方法

- ・東京電力において、選定基準に則り工事を選定
- ・選定された工事の元請企業は、選定基準に則り、自ら発注した工事に関与した企業を作業チームとして選定
- ・東京電力の協力を得て、経済産業省において上記作業チームについて評価し、感謝状の授与対象を決定

5. 感謝状の授与

4月に開催する福島第一廃炉国際フォーラムにおいて、高木副大臣より感謝状を授与。